

1 ねえ…ほんとに一緒に聞くの？ これ……。

2 確かに音だけじゃ、

3 何してるかよく分からないと思うけど……。

4

5 彼氏と一緒に、自分のエッチな声聞きながら、

6 しかも状況説明までするなんて……

7 流石に恥ずかしい、かも……。

8

9 ……もしかして、それが目的？

10 羞恥プレイ的な？

11

12 ……あゝもう。 それじゃあ、

13 さっさと終わらせよ？ こういうのって、

14 後回しにすればするほど恥ずかしくなるから。

15 ……ありがとう、イヤホン借りるね。

16

17 私はこっち使うから……はい、半分こ。

18 君はこっち使って。

19

1 ……って、コード短か……

2 隣行くね……？

3 君が有線イヤホン使ってるところなんて初めて見たけど、

4 もしかして……

5

6 こうやって近くで、

7 恥ずかしい報告させるため？

8 その反応、図星でしょ？

9

10 ……もう。

11 ……まあ、喜んでくれるなら別にいいけどさ。

12 そのために先輩と…あんな事までしたわけだし……。

13 感謝してよね？ ほんとに……

14 んっ、んんっ！

15

16 そ、それじゃあ再生するね……

17

18

19

1 ……はい、これで録音できているはずです。

3 録音を開始した途端いきなり、

5 ひゃ……っ！

6 ちょっと……っ。先輩……っ？

8 後ろから抱き着いてきたの。

9 ほんと節操無いよね。

11 ……そうですね。今だけ…録音している間だけは、

12 好きにしてもらって構いません。

13 彼のために、我慢しますから。

15 こう言ったら先輩、

16 抱き着いたまま、私の身体を撫で始めたの……

17 脇とかお腹とか、色々……。

18 指の腹で軽く撫でるように、

19 すーり、すーりって……。

1 んう……っ。あ……っ。は……。

2 手つき、いやらし……っ。あ……っ。

3
4 シャツの上から、

5 いやらしい手つきで撫でまわしてくるんだよ？

6 私の声、誤解しないでね？

7
8 ふー……。ふー……。……っ。

9 そこっ、くすぐった……あっ。んふー……っ。

10 ……あ……。ふー……っ。……っ。

11
12 くすぐったいだけだから。

13 服の上から触られるとき…誰でもこうなるよね？

14 君以外の人に触られるなんて、

15 ほんと最悪な気分だから。

16
17 でも先輩は、そんなのお構いなしに、

18 首筋を舐めてきて――

19

1 つつやあ……っ。

3 —変な声出ちゃったけど、驚いただけだからね？

4 気持ちいいかは全然無いから。

6 んう……っ。 は——は——。

7 よくそんなところ、舐められますね……っ。

8 汚いですよ……？ ……うっ。

9 汗もかいてますし……ふ——。

10 んう……っ。 は——。 ……っっ。

12 って言ったら、「それがいいんだ」って。

14 ふ——。 あ……っ。 ああ……っ。

15 気持ち悪いです。 ……ん。

16 先輩じゃなくて、変態って呼んだ方がいいですか？

18 ハッキリ気持ち悪いって伝えてるのに——

1 ついや…ツツ！ だから、またあ…っ。

3 —懲りずにまた舐めてくるんだよ？ ひどいよね？

5 好きでもない女の子の汗で……はあ…っ。

6 そんなに喜ぶの……んっ。 きっと先輩だけですよ？

7 ……はい？ いきなりなんですか……。

9 耳元で、「ずっと瀬七ちゃんの事気になってた」って。

11 彼氏以外の好意とか…っ。 興味ないですから……っ。

12 は—……は—……。 んう……っ。 あ……っ。

14 好きって言われて嬉しいのは、君だけ…だよ？

16 ……はい、彼の事は大好きです。 ずっと昔から。

17 は—……。 だからへんた……

18 先輩なんかにこうして……っっ。

19 身体を預けているんです。

1 誰かさんと違って、

2 こんな気持ち悪い触り方しませんし……っ。

3
4 ちゃんと伝えておかないと…ね？

5 彼氏の事が好きで、

6 あなたの事なんてなんとも思っていないませんって。

7 勘違いでもされたら困るから。

8

9 でも相変わらず、

10 そんなのお構いなしって感じでさ……

11

12 ……え。 どうしましたか？

13

14 今度は前から……ぎゅーって。

15

16 つんん……ッッ。 顔、ちか……っ。

17

18 前からハグされるほうが、

19

やっぱり恥ずかしいよね？

1 そんなに見つめないでください。

2 視線も気持ちわ——

4 文句を言おうとしたらいきなり——

6 んむうつつ!?

7 んちゅ…っ、ぢゆる、ぢゅぢゅ、んむっ。

8 ちゅっ、んう…っ、んちゅっ、ぢゆるっ。

10 ——キスしてきたの。

11 「した」じゃなくて、「された」だからね？

12 自分からキスしたいって思うのは、君だけ。

13 だから安心して？

15 ……って、心配するどころか、

16 おちんちん膨らんでる……。

17 なんだか複雑だけど…こんなに喜んでくれるなら、

18 私も嬉しい、かな……？

1 ねえ…これじゃあおちんちん苦しいよね？

2 ……いいよ、手でしてあげる。

3 しーこ……しーこ……。 お耳も……。

4

5 つはあ……。 はあ……。 は……。 は……。

6 あ、いきなりキスするのやめてください。

7 ビックリするじゃないですか。

8 んう……。 口の中、まだ気持ち悪い……。

9 確かに、「録音している間は好きにしてい」とは、

10 言いましたけど……。

11 欲望に忠実過ぎますよ？ ほんと変態さんですね。

12

13 こんな事言われてるのに、

14 今度は「Yシャツのボタンを外して」

15 とか言いだして……

16

17 変態と言われたそばからそれですか。

18 全く、しょうがない人ですね。

19

1 先輩に言われた通り、ブラも付けてなかったからさ。

2
3 は、外しましたけど……次は何を――

4
5 すっごく恥ずかしかったのに……ボタンを外した途端――

6
7 ……んえッッ?!

8
9 ――胸を鷺掴みにされちゃったんだ。

10
11 男の人って、ほんと胸好きですよね。

12 ただの脂肪なのに。

13
14 って言ったら――

15
16 ああ……っっ!

17
18 ――乳首をつまんできたの。

19

1 だからっ、いきなり触らないでくださいっ。
2 変な声出ちゃったじゃないですかっ。

3
4 しかもニヤニヤした顔で、

5 「ただの脂肪なのに、どうしてそんな声出るの？」って、
6 煽ってくるんだよ？

7
8 そのまま、乳首には触れず、焦らすように、

9 乳輪だけを執拗に狙って、ぐーる…ぐーるって……。

10
11 だからっ、触り方が気持ち悪い……っ。

12 ふー……。 ……っ。 ……っ。 ……っ。
13 気持ちよくなんて、ならないですから……っ。

14
15 乳輪って、その…一人でする時も触ったことなくて、

16 なんとなくか、不思議な感覚だったな……。

17 しかも、たまに不意打ちで――

1 あああ……っつ！

2
3 —乳首もつまんでくるの。

4
5 だから、それやめてください……っつ。

6
7 さっきも言ったけど、

8 驚いて声出ただけだから。

9
10 ……はい、彼に触られるのは、

11 好きですよ……？ ふー……。

12 喜んでくれるから……っつ。 んう……っつ。

13 自分が気持ちいとかより、

14 好きな人が喜んでくれる方が嬉しいですから……っつ。

15
16 そうですね。 好きでもない人に触られても、

17 ……ん。 気色わるい以外の感想はありません……っつ。

18
19

1 反抗的な事言っと――

3 先輩には悪いですけ――

5 ――すぐ乳首をきゅーって。

7 ――ついやあ……っつ！

9 他にも、爪でカリカリされたり、

11 いや……っ。あ……っ。は――……。

12 カリカリ、やめて……んうつ。

14 耳に息を吹きかけられたり……

15 もうやりたい放題だったんだから。

17 ……ねえ、君のおちんちん、

18 ますます硬くなってる……。

1 もてあそ 彼女の身体、弄ばれてるんだよ？

2 どうしてこんなに興奮してるの？

3
4 ……ふ、ふーん。悔しいのが気持ちいいんだ？

5 つまり、嫉妬してるって事だよね？

6 へえ、そうなんだ……。

7
8 胸を触るの、やっとやめてくれたと思ったら、

9
10 ……んえ？ 下も、ですか……。？

11
12 今度はパンツを脱ぐように言われて、

13
14 わ、分かってますっ。

15 言う事聞きますから。

16 今だけは…彼のために。

17
18 渋々スカートをたくしあげたら……

19

1 ……え。うそ…っ、なんで……っ。

2
3 そ、その……パンツが濡れてたの……。

4
5 これはっ、そういうのじゃないですから……っ。

6 そ、そうだっ。汗ですっ！

7 私、汗かきやすい体質なのでっ！

8
9 ほぼ初対面の男の人にずっと、

10 身体触られてたからさ、

11 緊張で汗かいてっちゃって…っ。

12
13 ……んっ……しょっと……。

14 ……いちいち注文が多いですね。

15 ほんと変態……。

16
17 「パンツは脱ぎかけで、

18 片足に引っ掛けておいて」って言われたの。

19 気持ち悪いよね？

1 ほら、これでいいんですよ？

2
3 パンツを下ろしたら、そのまま指で――

4
5 次は何をすればいいんですか？

6 さっさと――

7 ―っんぐ……っ。 いや……あっ。

8
9 ―おまんこの周りをなぞり始めたの。

10
11 なんで……っ、いつもより……っ。

12
13 大きくてゴツゴツした手でゆっくりと……

14
15 何この音……っ。 あっ……ん……は――……は――……っ。

16
17 わざと水音を立てるように指を動かしながら、

18 「どうしてこんなに濡れてるの？」って聞いてくるんだよ？

19 汗だってさっきから言ってるのにね？

1 彼に誤解されるようなこと、

2 言わないでくださいっ。 んう……っ。

3 濡れてませんから……っ。 ああ……っ。

4 いいですか？ あなたに触られても、

5 全く、これっぽちも気持ちよくありませんからっ。

7 この言葉が、先輩には気に入らなかったみたいで、

8 「じゃあどうしてエッチな声出てるの？」って。

10 声くらい、我慢できます……っ。

11 好きでもない人の指で、

12 感じるわけありませんからっ。

14 ……え？ なんですか。 それ、私の……

16 スマホを口元に近づけてきて、

17 「ちゃんと声我慢できるか、

18 彼氏君に聞いてもらおうよ」って。

19

1 またニヤニヤして……ほんと悪趣味ですね……。

3 全然大丈夫だから、安心して？

4 君の事考えて我慢するね？

6 そして、先輩の太くて長い指が、

7 おまんこの中に入ってきて――

9 つう……ツツ。

11 ――内側からお腹を圧迫するみたいに、

12 指をぐいって。

14 つっんあ……っ。 ……つつ、やつ、っあ……っ。

15 そこっ、そこは……っ。 ……つつ、はっ……っ。

16 ……っ、つつ、ゝゝつつ。 はっ、はっ、あっ……んっ。

18 誤解しないでね？

19 声じゃなくて、息が漏れてるだけだから。

1 そりゃ、少しは気持ちいいけどね？ 流石に……。

2 でも、君にされるほうがずっと気持ちいいから。

3 だって、こんなに大好きなんだもん。

4
5 ちゅっ……。 ねえ……

6 ちゃんとしたキス、したくなっちゃった……

7
8 はあむ……。

9 んちゅ…っ、ぢゆる、ぢゅぢゅ、んむっ。

10 ちゅっ、んう…っ、んちゅっ、ぢゆるっ。

11
12 「中ほぐれてきた」？

13 だから、いちいち気持ち悪い事言わないでください。

14 そんなわけありませんから。

15
16 ……えっ?! ちょっと……っ。 それは流石に……

17 っぐ……ッッ。 指ふと……っ。

18 んはあー……。 はー……。 はー……。

19

- 1 「これなら2本いけるかな〜」とか言いながら、
- 2 もう一本突っ込んできたんだよ？ キモイよね？
- 3
- 4 あのだ…痛いと思うので、
- 5 ゆっくり動かし――
- 6
- 7 つつやああ…ツツ！
- 8 つあ、やつ、…っ、つつ、はっ。
- 9
- 10 絶対ドsだよな…先輩。
- 11 ゆっくりって言ったのに。
- 12
- 13 だからっ、ゆっくりってえ…ツツ。 つ、んっ、はあ…っ。
- 14 はッ、あ、あ、…っ、つつ、…ツツ、んあ…っ。
- 15 なんでっ、なんでえっ。…つつ、あっ、はっ、ああ…っ。
- 16 いたくないのお…っ。…っ、つつ、ゝゝつつ。
- 17 いつもはっ、あっ、あっ、っ、つつ、んん…っ。
- 18 はッ、あ、あ、…つつ、…ツツ、んあ……っ。
- 19 ゆび、ゆびいつ、っ、つつ、はっ、はっ、あっ。

1 太い指が2本も入ってるのに、

2 なんかね……変なの。

3 全然痛くなくて、それどころか……。

4 ……。

5 でもやっぱり、

6 大好きな人にされるほうが絶対気持ちいいから。

7 ほんとだよ……？

8 ……はい？ 「弱点」？

9 なんの話ですか？

10 急に「弱点見つけた」とか言ってきてさ……

11 つつんうう……ツツ！

12 んえ……っ?! 何、今の……。

13 ちょっと油断してただけだからっ。

14 先輩の指なんかで感じないよ？

1 ガマンガマンガまっんう……ッ。

2 ふー……。そこ…奥のとこ……っはあ……ッ。

3 それ知らないっ……だめ、そこはっああ……ッ。

4

5 G スポット……？ って言うらしいね？

6

7 こんなにゆっくりなのに、なんでっえへ……ッ。

8

9 そこを、一定の周期でぐいっって……。

10

11 ふー……。やばっ……おく、おく……っう……ッ。

12

13 でも、そんな技術よりやっぱり、

14 好きな人とするこのほうが大事だよね？

15

16 はー……。はー……。指、やばっああ……ッ。

17

18 だって君としてる時、好きって気持ちで心がいっぱいになって、

19

すっごく幸せなの……。

中の気持ちよさって、良く分からないので……。

1　　そういう体質みたいでさ…君のせいじゃないよ？

3　　でもだからこそ、相手が大事なんです。

4　　彼だったらハグしてるだけで。

5　　幸せな気持ちでいっぱいになりますから。

6　　…誰かさんとは違って。

8　　こう言ったら、

9　　ちよつとムツつとした表情でまた――

11　　っはあ…ツツ。

12　　はっ、はっ、あ、っ、っつ、…ツツ、んあ…っ。

13　　あっ、はっ、っ、っつ、ツツ、ん…っ。

15　　――指をぐいつ、ぐいつて……。

16　　君に対抗心でも燃やしてるのかな？

17　　そんなことしても無駄なのにね？

18　　だって、こんなに好きなんだから。

1 はあむ……。

2 んちゅ…っ、ぢゆる、ぢゅぢゅ、んむっ。

3 ちゅっ、んう…っ、んちゅっ、ぢゆるっ。

4

5 はいはい、もう分かりましたから。

6 私の事、好きなんですね。

7 そんなに何度も「好き」って言わなくてもいいです。

8 申し訳ございませんけど、

9 その気持ちには答えられませ——

10

11 っんんう…ッッ！

12 っん、いやっ、…はっ、っ、っっ、ッッ。

13

14 すごいよね、先輩。

15 彼氏いるって分かってるのに、

16 ストレートに好意を伝えてくるの。

17 よっぽど自分に自信があるのかな？

18 私、先輩に奪われちゃうかもよ？

19 ねえ、嫉妬しちゃう？

1 ……ふふっ。 おちんちんすごい反応。

2 血管が浮き出て、先っぽがパクパクしてる。

3 そんなに私の事、大好きなんだ？

4

5 おくっ、そこっ、やばあッ！

6 つんあ……っつ。

7

8 はあー……。 はー……。

9 指抜けちゃった……。

10 少し、休憩しませんか？

11 先輩も疲れてますよね？

12

13 つんう……。っつ。

14 休憩、いらないんですか？

15 運動部なだけあって、無駄に体力ありますね。

16

17 休むどころか、やる気満々の顔で、

18

「その気持ちよさそうな声、

19

彼氏君にもっと聞いてもらおうよ」って。

1 だからっ、そんな声出してませんってば。

3 つんう……つつ。 んっ、ふっ、んふる、ふー、ふー、んっ。

5 反抗して、

6 手で口元を押さえてみたんだけど……

7 そしたら、「そんなに声聞かれたくないんだったら、

8 手伝ってあげる」とか言い出してさ。

10 手をどかして、また無理やり――

12 ちょっと…っ、せんぱ――

14 んむうつっ!?

15 んんっ、んっ、んうっ、んっ、ぢゆるっ、んむっ。

17 ――キスしてきたの。ごめんね？

18 他の男の人と何度も何度も……。

19 でも無理やりだから、浮気じゃないよね？

1 なんか必死に舌絡ませようとしてきたけど、

2 ただ気持ち悪いだけだったし。

3 興奮した先輩の鼻息がかかって、

4 ほんと最悪って感じ。

5 それでも頑張れたのは、君のお願いだから。

6 大好きな人のためって自分に言い聞かせて、

7 先輩なんかに身体を預けたの。

8

9 ……はあ？ そんなわけありませんっ。

10

11 「俺の指、ぎゅうぎゅう締め付けてきたよ？」って先輩が。

12

13 適当な事言わないでください。

14

15 しかも、「イっちゃった？」って、

16 的外れな質問までしてきたんだよ？

17

18 イってませんってばっ。

19

中の気持ちよさ、良く分からないので――

1 つえへ…ツツ！

2 つあ、やつ、いやつ…はっ、っ、つつ、ツツ。

3 つんう…っ！ んっ、ふっ、んふゝ、ふー、ふー、んっ！

4
5 私の言う事、信じられないみたいでさ。

6 「キス無しで確認してみようよ」

7 とか言い出したんだよ？

8
9 君は信じられるよね？ 彼女の事。

10
11 ……って、聞いている？ そんなに息荒げて、

12 おちんちんもパンパン……。

13 もう出ちゃう？ 他の男に、

14 彼女のおまんこいじめられてる音声なんかで、

15 ぴゅっぴゅしちゃうの？

16 しっしっしっしっ、しっしっしっしっしっ。

17
18 つはあ……っ。

19 せんぱいつ、まってっ、たんまッ！

1 あっ、あ、あ、だめっ、だめえッ！

2 ふっ、くっ、んう、う、ぐ、う、う、うう…っ――

3
4 これ、もう出るね。我慢できないよね？

5 いいよ…出して？

6
7 ―っんああああ〜っっっ！

8
9 ほらっ…びゅー、びゅっびゅー。

10 びゆるるるー。とぶとぶとぶ…。

11 すごい量…。

12 それだけ、気持ち良かったってことだよね？

13 ……だったら、良かったかな…。

14 我慢した甲斐があったというか…。

15
16 はいはい、そうですね。

17 そういう事にしておきます。

18
19 「声出ちゃったから、瀬七ちゃんの負けだね」だってさ。

1 気持ち良すぎて声我慢できませんでしたー。

2 私の負けですー。

3
4 ちよつと、再生止めるね…っ。

5
6 い、一応言っておくけど、さっきの私の声…

7 あっ、録音のほうのね？ あれはわざと…っ。

8 そう、演技…演技だからっ。

9 そうでもしないと、先輩が満足しないだろうから。

10 早く終わらせたくて…ね？

11
12 じゃないとあんな声出るわけないし。

13 本当だよ？

14
15 彼女の言葉、信じられるよね？

16